令和２年度　大阪府　国民健康保険事業　決算概況のポイント

資料13－２

**１　単年度収入の構成は、公費（国費及び府費）が40％近く、事業費納付金（保険料等）、前期高齢者交付金（他保険者からの支援金）が約30％**

・公費（国庫支出金、特別高額医療費共同事業交付金、府一般会計繰入金）　　　　　　　　　　3,206億76百万円（38.46％、対前年比0.18ﾎﾟｲﾝﾄ増）

・事業費納付金（保険料等）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 2,697億31百万円（32.35％、対前年比0.19ﾎﾟｲﾝﾄ減）

・前期高齢者交付金　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 2,432億65百万円（29.18％、対前年比0.03ﾎﾟｲﾝﾄ増）

　　※　国庫支出金（2,659億38百万円）の内訳

療養給付費等負担金1,747億34百万円、高額医療費負担金74億38百万円、特別高額医療費共同事業負担金5億50百万円、

特定健康診査等負担金8億60百万円、普通調整交付金609億64百万円、特別調整交付金 136億63百万円、保険者努力支援制度交付金77億28百万円

**２　単年度支出の構成は、保険給付費等が約80％、後期高齢者医療への支援金が約14％、介護保険への納付金が約5％**

・保険給付費等交付金及び特別高額医療費共同事業　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　6,457億71百万円（79.88％、対前年比0.11ﾎﾟｲﾝﾄ減）

・後期高齢者支援金等　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 1,102億　4百万円（13.63％、対前年比0.20ﾎﾟｲﾝﾄ増）

・介護納付金　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　436億53百万円（ 5.40％、対前年比0.25ﾎﾟｲﾝﾄ増）

**３　単年度収支差は、254億28百万円の黒字、基金繰入金（5億59百万円）及び昨年度繰越金（1億22百万円）の活用、**

**基金積立（2億4百万円）及び基金貸付（1億50百万円）後の次年度繰越額は、257億56百万円**

・次年度への繰越額（257億56百万円）は、令和２年度末における「形式的な」資金収支差。

・療養給付費等負担金、退職者医療交付金及び高額医療費負担金は、年度の初めに当初交付決定し、年度中に数回に分けて交付され、額の確定及び

精算は翌年度（令和３年度）に行う。このため、概算交付分が過大となっていた場合は、返還額が生じる。

療養給付費等負担金　 **返還額 ▲191億63百万円**

退職者医療交付金　　　　　**返還額 　　▲6億76百万円**

高額医療費負担金　　　　　**返還額 　　▲1億46百万円**

**返還額合計　▲199億85百万円**

⇒　大阪府分の令和２年度の実質的な歳出規模は、8,287億18百万円（8,087億33百万円+ 199億85百万円）となり、

収支差引残は、57億72百万円（0.69％）の黒字。

※　出典：事業年報Ｂ表（令和４年３月15日時点）

※　単位：百万円、％（小数第２位まで）　単位未満四捨五入により合計値は合わない場合がある。

令和２年度 大阪府内43市町村総計 国民健康保険事業　決算概況のポイント

**１　単年度収入の構成は、都道府県支出金（普通交付金含む）が約70％、保険料収入が約19％、一般会計繰入金が約10％**

・都道府県支出金（うち普通交付金）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　6,454億56百万円（6,285億18百万円）69.71％（対前年比0.84ﾎﾟｲﾝﾄ減）

・保険料収入 　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1,743億11百万円　18.83％（対前年比0.06ﾎﾟｲﾝﾄ減）

・一般会計繰入金　　　　 　 　　　　　　　　 966億　7百万円　10.43％（対前年比0.17ﾎﾟｲﾝﾄ増）

**２　単年度支出の構成は、保険給付費が約68％、国保事業費納付金が約29％、総務費が約1.8％**

・保険給付費　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　6,207億37百万円　67.87％（対前年比1.07ﾎﾟｲﾝﾄ減）

・国保事業費納付金　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　 2,697億31百万円　29.49％（対前年比0.99ﾎﾟｲﾝﾄ増）

・総務費　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 159億79百万円 1.75％（対前年比0.05ﾎﾟｲﾝﾄ増）

**３　純資産 (資産－負債）は、黒字40市町村（428億67百万円）、赤字3市町村（▲17億13百万円）**

**うち、収支差引額では、黒字41市町村（187億24百万円）、赤字2市町村（▲16億58百万円）**

**単年度収支差は、黒字35市町村（120億42百万円）、赤字8市町村（▲ 6 億69百万円）**

**累積赤字額は、元年度　26億32百万円　→　２年度　17億13百万円へ　、9億19百万円（34.92％）の減少**

・単年度収支差の黒字は、元年度　73億10百万円　→　２年度　120億42百万円（ +47億32百万円　64.73％増）に増嵩している。

・単年度収支差の赤字は、8市町村（▲6億69百万円）あるが、前年度繰越金等の活用により収支差引は黒字としている。

・純資産は、元年度　296億30百万円　→　２年度　411億53百万円（+115億円23百万円　38.89％増）に増嵩している。

※基金等保有額及び次年度繰越額の増減について

　　　　　　 基金等保有額は、元年度　208億20百万円　→　２年度　242億38百万円（ +34億18百万円　16.42％増）

　　　　　　 次年度繰越額は、元年度　114億41百万円　→　２年度　187億24百万円（ +72億83百万円　63.66％増）

⇒市町村総計としては、資産が増加するとともに、累積赤字は縮減している。

大阪府国民健康保険運営方針において、累積赤字は解消をめざすものとしており、累積赤字縮減は保険財政健全化に資するものである。

※　出典：事業年報Ｂ表（令和４年３月15日時点）

※　単位：百万円、％（小数第２位まで）　単位未満四捨五入により合計値は合わない場合がある。